

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立葛飾商業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
副校長、経営企画室長、総務厚生部主任＝事務局長、総務厚生部員1名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任、総務厚生部主任 計7名
- (4) 協議委員の構成
葛飾区立常盤中学校長・南新宿児童館長・同窓会会長・都産業教育振興会副会長・葛飾区新宿地区民生児童委員会会長・保護司・民生児童委員・主任児童委員・柴又神明会代表・地域商店会代表・亀有警察署・金町消防署・PTA会長 計13名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容
 - 第1回 令和4年6月24日（金）午後3時30分～午後4時50分
会議室、内部委員7名、協議委員10名
 - ① 協議委員委嘱
 - ② 委員紹介
 - ③ 令和3年度学校運営連絡協議会報告
 - ④ 令和3年度学校経営報告および令和4年度学校経営計画
 - ⑤ 本校の現状と取り組みについて報告（経営企画室・教務部・生活指導部・進路指導部・総務厚生部）
 - ⑥ 防災教育の推進
 - ⑦ 意見交換（本校へ意見と質問）
 - 第2回 令和4年11月29日（火）午後3時30分～午後4時50分
会議室、内部委員7名、協議委員11名
 - ① 本校の現状と取り組みについて報告（経営企画室・教務部・生活指導部・進路指導部・総務厚生部）
 - ② 防災教育の推進
 - ③ 学校評価アンケート
 - ④ 意見交換（本校へ意見と質問）
 - 第3回 令和5年2月17日（金）午後3時30分～午後4時50分
会議室、内部委員7名、協議委員10名
 - ① 本年度の総括と課題等報告（経営企画室・教務部・生活指導部・進路指導部・総務厚生部）
 - ② 防災教育の推進
 - ③ 意見交換（本校へ意見と質問）
- (2) 評価委員会は別途設けず、協議会の中で検討・報告している。

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・ 2月 全校生徒 552人 (回収496人 89.9%)
- ・ 2月 保護者 552人 (回収207人 37.5%)
- ・ 2月 教員 44人 (回収 43人 97.8%)
- ・ 2月 協議委員 13人 (回収 12人 92.3%)

(3) 主な評価項目

- ・ 学校生活 入学後の満足度、学校の雰囲気
- ・ 学習指導 検定取得指導、チームティーチング、補習の充実度
- ・ 生活指導 進路に必要な生活指導、遅刻・頭髪指導、社会のルール
- ・ 進路指導 進路情報の提供、個別面談等の指導
- ・ 特別活動 学校行事・部活動
- ・ 教員の態度 体罰や暴言をなくすための取組
- ・ その他 施設・設備、読書活動、放課後の指導対応、自宅での学習時間

(4) 評価結果の概要及び分析・考察

① 学校満足度

【生徒】「葛商に入学してよかった」

一昨年度74.6% → 昨年度69.9% → 今年度78.4%

【保護者】「葛商に入学させてよかった」

一昨年度88.2% → 昨年度69.1% → 今年度81.8%

昨年度は生徒、保護者ともに学校満足度が減少したが、今年度は回復した。この結果を活かし、さらに満足度を高められるよう、職員が一丸となって、次年度も学校運営に取り組む。

② 学習への取り組み

「自宅での学習時間（予習・復習）はどれくらいか」

【1時間未満と回答した生徒】

一昨年度72.0% → 昨年度78.0% → 今年度86.0%

1年生81.9% → 2年生90.4% → 3年生86.6%

生徒の家庭学習時間は、年々減少傾向にあり、上級学年に進むほど、学習時間が減少する傾向にある。家庭学習定着のため、スタディサプリや一人1台端末の活用など、生徒が能動的に学習に取り組む環境整備を更に進める。

③ 学習指導

「学習指導では内容、方法に工夫がなされているか」

1年生80.7% → 2年生74.4% → 3年生77.6%

大半の生徒が、教員の取り組みを理解しているが、20%程度の生徒には、理解されていない。この理解度を高める為にも、ICT機器の活用など、更に生徒の興味関心を惹く授業に取り組む。

「資格取得についての指導体制が充実している」

1年生93.6% → 2年生89.8% → 3年生97.3%

ほとんどの生徒がこの項目について、肯定的な回答をしている。しかし、検定結果に結びついていないこともあるので、今後は結果に結びつく取り組みをしていく。

④ 生活指導

「基本的な生活習慣を身につけられるよう、適切な指導をしている」

1年生84.8% → 2年生71.5% → 3年生86.7%

大半の生徒が、本校の生活指導を理解している。特に3年生は進路との関係もあり、商業高校での生活指導の必要性が理解されているのだろう。今後も保護者と連携を図りながら理解度を高めるとともに、入学してくる中学生、中学校へ本校生活指導の理解にも努める。

⑤ 進路指導

「進路指導・情報提供が充実している」

1年生92.4% → 2年生83.9% → 3年生92.0%

ほとんどの生徒がこの項目について、肯定的な回答をしている。商業高校の生命線でもある進路指導を更に充実し、生徒募集活動に活かしていく。

⑥ いじめ、体罰

「いじめや体罰等について相談しやすい学校である」

1年生82.4% → 2年生70.1% → 3年生76.6%

大半の生徒がこの項目について、肯定的な回答をしている。しかし、更に高めるため、特別支援委員会を中心に、スクールカウンセラーとの連携をより強固なものにするとともに、校内研修を充実させ、いじめや体罰の未然防止に努める。

⑦ 地域連携

「地域と連携した教育活動を推進している」

1年生84.7% → 2年生78.9% → 3年生77.7%

大半の生徒がこの項目について、肯定的な回答をしている。今年度も新型コロナウイルス感染症のために、地域連携に制限がかなりあったが、次年度は感染拡大防止に努めながら、新型コロナウイルス感染症の前の水準に戻すよう努める。

⑧ 肯定的評価の最も高かった項目

【生徒】「資格取得についての指導体制が充実している」94.0%

【保護者】「資格取得についての指導体制が充実している」90.1%

【教職員】「指導内容を工夫し、教科指導では、基礎・基本の徹底を図っている」

「折に触れて、生徒に進路の動付けを行っている」

ともに、93.4%

【協議委員】「地域と連携した教育活動を積極的に推進している」

「資格取得の指導に取り組んでいる」

「本校の電話や窓口対応はよい」

ともに、91.7%

本校の資格取得への取り組みが理解されていることが伺える。しかし、先程も触れたが、結果に結びつく指導をすることが課題である。協議委員の方からは、地域連携、窓口等の対応の良さを評価いただいているので、次年度以降も更に高められるよう努める。

⑧ 肯定的評価の最も低かった項目

【生徒】「自宅で、予習・復習等、勉強をしている」42.0%

【保護者】「保護者の意見を積極的に取り入れている」41.4%

【教職員】「特別活動（学校行事、部活動、生徒会活動）は充実している」55.6%

【協議委員】「授業公開、公開講座等開かれた学校づくりをしている」58.3%

生徒は、②の学習時間からも、自宅学習にあまり取り組んでいないようである。研修等により、生徒の自宅学習への取り組み改善に向け、一丸となって取り組む。保護者からの意見は真摯に受け止め、改善すべきこととは改善に向け取り組む。教職員、協議委員ともに、新型コロナウイルス感染症による影響もあると思われる。なるべく早い時期に、従前の教育活動に戻し、改善を図る。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・昨年度実施した、文化部の発表会がよかった。
- ・地域からの連携要望が多い。
- ・学校の様々な取り組みが、応募倍率の増加に繋がったのであろう。
- ・警察から、高校生犯罪の様々な情報提供をいただいた。
- ・スクリレを導入し、連絡漏れなどを減らすことができ、よかった。
- ・以前より、自転車マナーがよくなった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・挨拶をする生徒が以前より減った。
- ・災害時の対策。
- ・自転車の安全教育への取り組み(ヘルメットの努力義務化についての取り組み)。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 教育課程

- ・グランドデザインに基づいた新教育課程の適正実施と検証
- ・観点別評価の適正実施と検証

(2) 学習指導

- ・Teams等を活用した、リモート学習の更なる充実
- ・一人1台端末を活用した授業展開や家庭学習の推進
- ・オンライン個別学習の充実
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、主体的・対話的な深い学びを実現し、言語活動の充実を図る
- ・校内研修の充実と外部研修への参加、授業公開等による授業力の向上
- ・実学のビジネス教育の更なる推進と検定資格取得の両立
- ・校内寺子屋を活用した基礎学力の向上とNIE教育の促進

(3) 進路指導

- ・3年間を見据えたキャリア教育の充実
- ・進路希望を踏まえた選択科目の履修指導等の充実と検証
- ・インターンシップの組織的な推進体制の確立と、実施学年、時期の検討
- ・「総合的な探究の時間」および「ホームルーム」を活用した計画的な進路学習の充実

(4) 生活指導

- ・校則の見直しと、生徒指導の方法を検討し、生活指導に全教員で取り組む体制の維持
- ・他者理解を深めるための人権教育を推進し、いじめの未然防止および早期発見・早期対応に努める
- ・SNSトラブルの未然防止
- ・自転車通学の安全指導と安全対策の徹底
- ・きめ細かな、身だしなみ指導、遅刻指導の徹底

(5) 特別活動

- ・部活動の加入率向上と大会成績の向上
- ・部活動を平常体制に戻す時期と、活動時間等の検討
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、地域貢献活動の再開
- ・防災教育の充実

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーおよび外部機関との連携による、カウンセリングの充実
- ・特別支援に対するスキルアップと生徒情報の共有化により、個に応じた適切な指導の実施
- ・スクリレを活用し、健康に関する個人情報共有化および適切な対応

(7) 広報・募集活動

- ・学校ホームページの更なる充実
- ・中学校への説明会・出前授業の積極的な取り組み
- ・学校説明会・体験入学等の充実
- ・中学校や学習塾へのPR訪問の充実

6 『学校がよくなった』と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 13人 (回答13人)

(2) 『学校がよくなった』と答えた協議委員の人数 11人

質問内容	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
学校が良くなった	5	6	2	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・協議委員の職員会議及び企画調整会議への参加の機会はなかった。今後も本校教育活動の理解を一層深めるために、実施を継続して検討する。

8 その他

- ・今年度は対面形式で3回とも実施し、忌憚ないご意見をいただいた。昨年度は、書面による1回しか開催できなかったため、協議委員の方々から意見をあまり訊くことができなかった。昨年度は協議委員アンケートにおいても、「分からない」と回答された方が4名もいたが、今年は0である。学校の情報について、ホームページ等をより充実させ、学校の様子について知っていただく機会を増やす。
- ・保護者のアンケート回収率が依然として低いので、回収率を高める方法を検討する。